

# ellipse

[エリプス]

## TOPICS

徽音堂物語 10

### 大学正門も国の登録有形文化財建造物

楕円(ellipse)には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心(焦点)となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。



ワ・タ・シ

深津知寿 FUKATSU, Chizu イラストレーター  
東京生まれ。1988年、お茶の水女子大学文教育学部地理学科卒業。在学中に、『週刊朝日』誌上にて「山藤章二の似顔絵塾」特待生となる。広告代理店勤務を経て、1990年より作家活動を開始。書籍装画、CDジャケットなど多く手がける一方、エッセイ執筆、壁画制作などの活動を展開している。

## REPORT

講演「女性の起業とSOHO」 鹿住倫世 先生  
男女共同参画事業／講師派遣事業 ご報告  
研究室から「美」への飛翔  
～「雅 Grace」の誕生～  
科学史散歩 10  
「国境を越えた女性生物学者 團ジーン」

## INFORMATION

お茶の水女子大学イベント情報  
講演会のご案内  
お茶の水ブックレット 8 発行のお知らせ  
事務局よりお知らせ



特定非営利活動法人

お茶の水学術事業会

## 徽音堂物語 10

# 大学正門も国の登録有形文化財建造物



春日通りに面した大学正門は両側にイチヨウ並木・正面に大学本館を望み、印象的な景観の中心です。お茶大というとまずこの風景を頭に浮かべる方が多いのではないのでしょうか。この正門も大学本館等と同じく国の登録有形文化財建造物とされたのをご存知ですか。

今回は徽音堂には直接関係ありませんが、有形文化財としての「大学正門」の特徴をご紹介します。

## 登録有形文化財とは

近代の文化財建造物を後世に伝えるために、平成8年秋に「文化財登録制度」が導入されました。この制度に基づき登録された建造物を「登録有形文化財建造物」といいます。

昭和初期に文部省大臣官房建築課の設計・監督の下に建てられた「大学本館」・「大学講堂（徽音堂）」・「附属幼稚園園舎」とともに、「大学正門」も平成20年3月に登録有形文化財になりました。

## 大学正門(登録名称:お茶の水女子大学 表門)

正門は昭和11年11月に落成しました。当時の図面は大学の施設課に現存し、設計は文部省大臣官房建築課で設計係長

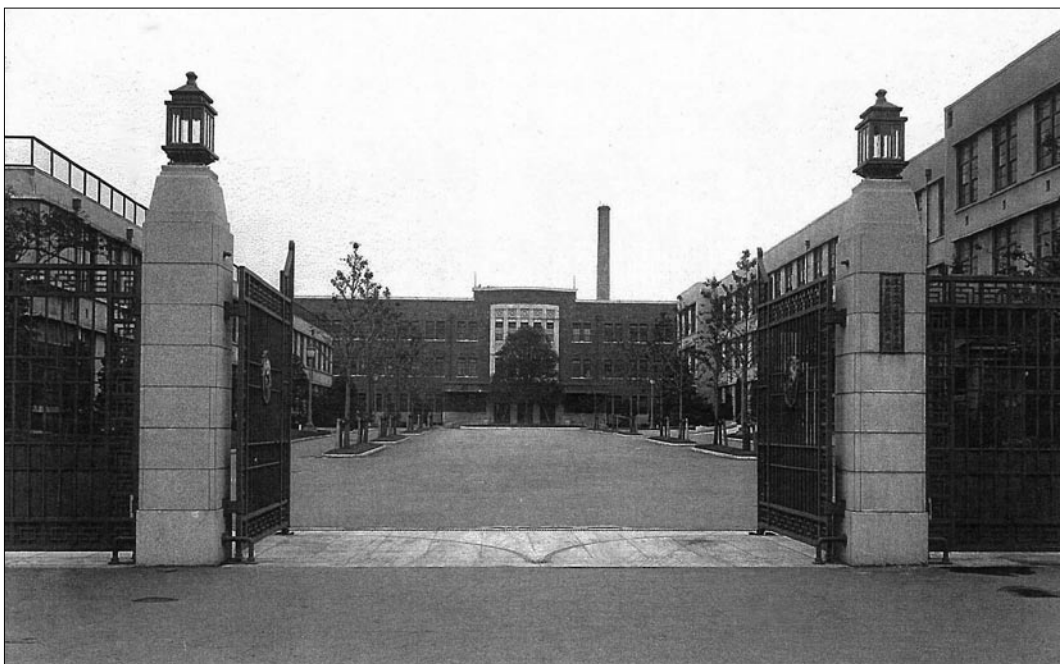
は高橋理一郎、設計者は田中徳治（大学本館と同じ設計者で、後の文部省初代文教施設部長となる）と記録されています。

鉄製門扉だけは諸事情で失われ、昭和30年3月に現在の扉が設置されました。そのほかは昭和11年当時のものが現存している貴重な文化財です。現在の門扉も築50年以上経過しているので登録の条件に該当し、全体が有形文化財の対象となりました。

正門は一对の門柱とその両脇の扉で構成されています。門柱は高さ4.1mの鉄筋コンクリートに万成石(花崗岩)張りです。その上に高さ1mの門柱灯(銅製)が設置されています。

脇門柱は3.53m、扉の高さは3.2mでその長さは右側が7.4m、左側が6.6mです。

全体的にシンプルなデザインで各面の平面性を強調しており



◀ 竣工当時の大学正門（昭和11年11月落成記念写真帳より）



昭和初期のデザイン手法を適用したものだそうです。その一方で、出隅には銀杏面をとるなど細部までいねいに作られています。門柱下部の門扉の戸当たり、旗竿金物、敷石、塀にはめ込まれている鉄製の門飾り(グリル)も昭和11年当時のものです。グリルの模様は、旧門扉に見られた模様に対応したデザインです。

写真をご覧になるとわかるように、旧門扉には幾何学的なデザインを全面にほどこし、扉中央に当時の徽章をあしらった装飾が着いていました。扉を綴じると中央に門灯のシルエットのような飾りが直線上にそびえ立つデザインでした。

現在の門扉は、中央が低く曲線を生かした優しい印象の扉の中に縦線を強調したシンプルなデザインです。本館正面玄関上のぶどうのレリーフがよく見え、昭和30年代のより開かれた大学のイメージになったのではないのでしょうか。

## これから・・・

大変気がかりなことですが、春日通り(国道254号線)の歩道拡幅の計画に正門の塀がかかっています。向かって右が2.5m削られ、左はわずかですがいずれも道路側の柱を内側に移動し、塀を削る工事をする必要があるそうです。

大学の施設チームでも最小限の損失で済むように対策を考えて下さっているそうです。国の登録有形文化財を削るわけですから、拡幅工事もイメージを壊さないように慎重におこなわれると期待しています。歴史と伝統のある建造物を次世代に伝えて行く難しさも考えさせられるお話でした。

写真協力：お茶の水女子大学施設チーム

取材協力：施設チーム・(副チームリーダー) 神田浩美氏



▲現在の正門 平成19年5月

門柱灯▶



◀塀のグリル



▲門扉戸当たり



▲小学校側



▲内側から敷石、春日通りを望む



▲脇門柱



## ■ 男女共同参画事業 「女性のためのパソコン教室」講演

# 「女性の起業とSOHO」

高千穂大学経営学部准教授 <sup>かずみ ともよ</sup> 鹿住 倫世 氏

ワークライフバランスをうまくとって豊かな生活を実現する働き方としてSOHOという働き方もあります。起業という店をもつ、会社をおこすというイメージがありますが、最近では自宅であるいは一室借りて一人で事業をおこす人も増えています。

近年パソコンの性能が良くなって、パソコンのできる仕事が増えています。個人のクリエイティビティ、創造力、アイデアが活かされる分野でもあります。大きな仕事ではなくても個人で独立して仕事をすることができます。

男女平等参画に関して申し上げますと、日本の女性の働き方はM字型就労とあって、労働力率が25歳から44歳あたりで低くなっています。これは子育て期に女性が労働市場から離れていることをあらわします。10年前と比べると、M字型の底は浅くはなっていますが、諸外国と比べたらまだ低いです。

その要因は一度会社を辞めたら再就職するのが難しいことと、子育てをしながら正社員として働くことが難しいということがあります。理想は一度会社を辞めても、正社員として復帰することですが、日本の場合パート労働者として復帰するパターンが一般的です。しかし正社員とパート労働者の賃金格差は依然としてあります。

ここでもうちょっと視野をひろげてみると、女性の働きやすい職場を自分で作る道もあります。SOHOについてお話ししましょう。SOHOとはSmall Office Home Officeの頭文字を並べたもので、70年代アメリカのロサンゼルス周辺でコンピューター開発者たちが自宅で仕事を始めたことから始まり、80年代、90年代にニューヨークのSOHO地区の倉庫街を改築して自営業やアトリエを開く人が増えたことで定着してきました。日本はインターネット導入以後、1995年あたりから注目されるように

なりました。パソコンなど情報通信機器を活用して自宅や小規模なオフィスで事業を行うことを指します。職種は多岐にわたり、データ入力関係の仕事が多いです。実際SOHOで仕事をしている人は30代40代に多く、調査によっては女性が多かったり、男女半々だったりします。事業規模もさまざまですが、副業としてやっている人も少なくありません。SOHOを始めた理由は家庭生活と仕事の両立を実現したい、時間に自由がきくからという意見が多いです。

最近では働いている人は仕事だけでなく、仕事と人生を考えるようになってきました。自分の能力を発揮して仕事したいとともに、人生も充実させたいのです。SOHOは生き方、働き方を融合させることができる新しい働き方です。

とはいえSOHOにもメリットデメリットがあります。メリットはいつでもどこでも仕事ができること、自分の能力、努力次第で報酬をアップさせることができることです。デメリットは時間の管理が難しいことです。仕事の時間も自分で割り振らなければならず、場合によっては思いの外時間がかかり、時給に換算したら割が合わないことや、ソフトウェアも日々変わっていくので、自分で勉強してスキルを磨いていかなければなりません。SOHOでも仕事をとることは競争なので、他の人よりも優れたところがあるといいでしょう。ミスが少ない、納期を守る、仕上がりに一工夫するなど、この人はちょっと違うと評価されるようなポイントを作ることが重要です。

それでも通勤時間がないことや、ワークライフバランスをとりやすいなど、SOHOは皆さんの今後の働き方の有用な選択肢の一つになるのではないかと思います。仕事を通じて男女共同参画を実現してください。

## — 既刊ブックレットのご案内 —

- 第1号 『教育と平和』（緒方貞子氏の講演他）
- 第2号 『国立大学改革とお茶の水女子大学のゆくえ』
- 第3号 『ライフワールド・ウォッチセンター』
- 第4号 『生命科学フォーラム』
- 第5号 『現代女性の恋愛・結婚・就労パズル』
- 第6号 『「女性と科学」を科学する』
- 第7号 『家族と犯罪』 【頒価：各500円】

### 【ご注文は】

お茶の水学術事業会事務局（月～金／10時～16時）  
E-mail: info@npo-ochanomizu.org TEL&FAX 03-5976-1478  
◆ Amazonでの購入も可能になりました



『いじめは犯罪! 絶対に許さない』  
NPO「いじめから子供を守ろう!ネットワーク」と当会が協力編集して作成した一冊です。（本年6月1日発行）昨今のいじめは大人が子供だった昔に経験したものとは質も内容も全く違って、複雑で悪質・残酷な社会問題です。この実態をまず大人たちが認識しなければいじめを撲滅できません。本書では豊富な事例と具体的な対策を収載しています。是非お読み下さって、お知り合いにもご吹聴下さい。そして悲惨ないじめから子どもたちを守りましょう。大好評のため、重版しました。Amazonでネット購入もしていただけますが、当会では関係者価格を用意していますので、どうぞ事務局へお問合せ下さい（左記）。



## ■ 男女共同参画事業 ご報告

# 女性のためのパソコン教室

お茶の水事業会は、文京区の男女協働・特命担当課との共同開催で「女性のためのパソコン教室」を実施しました。



日時 2008年6月24・26日、7月1・3日  
会場 文京区教育センター  
受講料 2000円  
講師 西村 文恵 氏 (株式会社ハッピーコム)

| 月日       | 内容  |
|----------|---|
| 6/24 (火) | 「女性の起業とSOHO」<br>覚えておくと便利な文書作成機能、<br>チラシ・案内状の作成 (Word) |
| 6/26 (木) | 名刺作成 (Word)   |
| 7/1 (火)  | 実務で役立つ表計算機能 (Excel)                                   |
| 7/3 (木)  | グラフ作成、データ集計 (Excel)                                   |

今回は6月23日から29日の「男女共同参画週間」に合わせて文京区の男女協働・特命担当課との共催で「女性のためのパソコンセミナー」を実施しました。就労生活と家庭生活のバ

ランスをとりながら、広い意味で社会参加をしたい女性を支援するということで、定員20名募集したところ4倍を超える応募があり、あらためて関心の高さを実感しました。

初日に高千穂大学経営学部准教授 鹿住倫世氏に「女性の起業とSOHO」という講演をしていただきました。受講生にとってパソコンスキルの可能性とさまざまな働き方をあらためて考えるきっかけになったようです。引き続き4日間にわたり(株)ハッピーコム 西村文恵講師によるワード、エクセルの基本操作と応用の講義があり、さまざまなテーマで実際にパソコンでの実技練習をしました。受講生は手をあげて質問したり、応用では自分のセンスでレイアウトを考えたりと熱心に取り組んでいました。4回の講座でしたが大変充実した内容でした。受講生のアンケートでも講師やアシスタントの説明がわかりやすく、すぐにも使える内容が学べてよかったと好評の声が多かったです。

今後も事業会では大学内外で在学学生、卒業生や地域住民のみならずみなさまのお役にたつセミナーを開催したいと考えております。

## ■ 講師派遣事業 ご報告

# 「明治から昭和に生きた女性作家」

前回のエリプスでご報告した、小平市中央公民館の女性セミナーの様子をお伝えします。

〈小平市セミナー〉明治から昭和に生きた女性作家

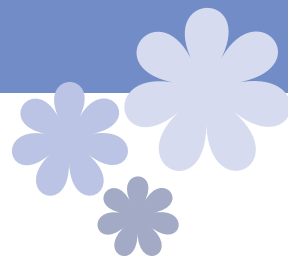
| 講師名    | 月日    | 取り上げた作家         |
|--------|-------|-----------------|
| 菅 聡子氏  | 5月22日 | 樋口一葉            |
|        | 7月10日 | 吉屋信子から<br>田辺聖子へ |
| 久保田裕子氏 | 6月5日  | 有吉佐和子           |
| 武内佳代氏  | 6月12日 | 岡本かの子           |
|        | 6月19日 | 尾崎 翠            |
| 倉田容子氏  | 6月26日 | 円地文子            |
|        | 7月3日  | 森 茉莉            |

各テーマでとりあげられた女性作家の生涯、作品の特徴、時代背景、他の作家との関わりなど、裏話などを交えながら講義が行われました。豊富な資料で分かりやすく、普段の読書だけでは知りえないことや、作品の奥深さを知ることができる内容でした。

受講生の皆さんも熱心にメモをとるなど、真剣に取り組んでいらっしゃいました。参加した方々からは、「今回この講座で文学を女性という点から見るとということに新鮮味を感じ、とても刺激を感じることができたと、もっと学んでみたい」、「講師の方々が優れている、お話も歯切れがよく分かり易い、若々しく熱心でエネルギーを感じて大変よかった」等の声が寄せられ、好評のうちに講座が終了しました。(小平市公民館 山崎氏)



◀講師の方々(左から)  
菅 聡子氏・久保田裕子氏・  
武内佳代氏・倉田容子氏



# お茶の水女子大学 イベント情報

2008年10月以降に開催される各種イベントのお知らせです。詳細は、各主催者にお問い合わせください。

| 期日  | イベント・講座名  | 参加費 | 備考  |
|---|---|-----|---|
| 2008年12月13日(土)<br>10:00～12:00   | <b>幼児教育未来研究会</b><br>テーマ：伝え合い響きあう言葉<br>◆事例提供：お茶の水女子大学附属幼稚園<br>◆助言：岩田 純一 先生（京都教育大学教授）   | 無料  | 【会場】お茶の水女子大学附属幼稚園<br>【詳細・お申込み】<br>子どもセンターのホームページからリンクできます。<br><a href="http://www.u-gakugei.ac.jp/~miraiken/">http://www.u-gakugei.ac.jp/~miraiken/</a>   |
| 2008年8月11日(月)<br>～12月16日(火)<br>平日<br>18:30～20:00<br>土曜日<br>10:00～13:20<br>14:00～17:20 | 2008年度後期公開講座<br><b>化学・生物総合講座管理の再教育講座</b><br>(全10科目/1科目は90分授業で15回構成/科目選択自由)<br><br>※今年度は既に開講中で、申し込みは締め切っています。<br>来年度以降「知の市場」として再発足しますのでご期待下さい。 | 無料  | 【主催】お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター(LWWC)<br>【会場】お茶の水女子大学 ※一部の科目は共催機関で開講<br>【お問合せ・お申込み】<br>お茶の水女子大学「化学・生物総合管理の再教育講座」事務局<br>E-mail:koukai-c@cc.ocha.ac.jp<br>Tel:03-5978-5096 Fax:03-5978-5019<br><a href="http://www.lwwc.ocha.ac.jp/saikyouiku/">http://www.lwwc.ocha.ac.jp/saikyouiku/</a> |
| 2008年11月8日(土)<br>9日(日)  | <b>徽音祭</b><br>『凜～今日は祭食研日』<br><small>まいしよくけんび</small>  | —   | お茶大生の中のお茶大生を決定する「水コン」、大人気のお笑いライブ、憧れの人気若手俳優に会いちゃうトークショーなど、ドキドキわくわく間違いなし！ピンクのハッピーに身を包んだスタッフが皆さんを丁寧にご案内します。<br>土屋賢二教授と川上弘美さんと紫門ふみさんによるシンポジウムも開催します！  |

## 特別企画のご案内

### 源氏物語千年紀にちなんで

千年もの長い間人々に読み継がれてきた「源氏物語」—平安時代の女性と婚姻を考えながら、その魅力に迫ります。

|   |  |                          |  |
|---|--|--------------------------|--|
| ● 講座名   | 「源氏物語—女性と結婚—」                                    |                          |  |
| ● 講師  | 1回目<br>「平安女性の婚姻と和歌」                              | 平野 由紀子 氏<br>(お茶の水女子大学教授) |  |
|   | 2回目<br>「紫の上の生涯」                                  | 田中 恭子 氏<br>(中京大学非常勤講師)   |  |
| ● 日時  | 11月8日(土)、11月15日(土) 13:30～15:30                   |                          |  |
| ● 会場  | 文京シビックセンター内会議室                                   |                          |  |
| ● 定員  | 各50名(文京区在住・在勤・在学、お茶の水学術事業会会員)                    |                          |  |
| ● 応募方法  | 往復はがきで申込・抽選(10月30日(木)必着)<br>※両日申込可。はがきは1日につき1枚必要 |                          |  |
| ※ 当会会員は、応募はがきに「お茶の水学術事業会会員」と明記のこと<br>※ 詳細は、文京区区報・HPをご覧ください。 |  |                          |  |
| ● 共催  | 文京区男女協働・特命担当課                                    | 03-5803-1187             |  |

## 講演会のご案内

|   |   |
|---|---|
| ● 主催・お茶の水地理学会                                   | ● 共催・お茶の水学術事業会  |
| ● 演題  | 「ポリフェノールとアンチエイジング」  |
| ● 講師  | 近藤 和雄 氏 お茶の水女子大学<br>生活環境教育センター教授  |
| ● 日時  | 12月20日(土) 14:00～16:00(参加無料)   |
| ● 場所  | お茶の水女子大学 本館 306   |
| ● 申し込み方法  | 葉書か FAX か E-mail で下記まで<br>住所・氏名・電話番号・卒業学科を記入<br>※ 保育(実費)ご希望の方は必ずお書きください。<br>〒112-8790 文京区大塚 2-1-1<br>お茶の水女子大学 文教育学部 地理学教室<br>FAX 03-5978-5185<br>E-mail chiriog@yahoo.co.jp |
| ● 締め切り  | 11月20日  |
| 定員を超えた場合は抽選、葉書で可否を連絡いたします。<br>皆様のご参加をお待ちしております。 |   |

## 寄付のご報告

この度、お茶の水女子大学附属小学校の給食設備改修のため、活動資金の一部を大学に寄付いたしました。設備が完成いたしましたら、改めてご報告いたします。

# 研究室から「美」への飛翔

## ～「雅 Grace」の誕生～

お茶の水女子大学理学部教授 室伏さきみ子氏（お茶の水学術事業会会員）が発見した物質を機能性成分とした化粧品『雅 Grace』が、長年にわたる産学連携の共同研究の成果として、この7月に発売されました。

細胞生物学の最先端の研究の中で発見された環状ホスファチジン酸（cPA）には、皮膚を作っている繊維芽細胞に働きかけてヒアルロン酸の合成を促し、さらに、繊維芽細胞を収縮させて張りを持たせる働きがあります。『雅 Grace』は、科学的データに基づく初めての化粧品として、また、産学連携の実効例として新聞などでも報道され、多くの注目を集めています（新聞記事：日刊工業新聞7月18日、科学新聞7月25日）。

『雅』と書いて『Grace』（グレイス）と読む美しいネーミングは、本学副学長内田伸子氏の発案によるもので、お茶大気質にふさわしく、優雅で美しく豊かに年齢を重ねる「ポジティブエイジング」への願いが込められています。また、cPAの構造式を取り入れた斬新かつ気品溢れるロゴマークは、岩城和哉氏（東京電機大学准教授）のデザインによるものです。

化粧水・乳液・美容液があり、発売元はSANSHO（株）\*で、現在はインターネットを通しての販売が中心ですが、今後当会でも取り扱いを予定しています。詳細はお問い合わせください。



▲科学新聞 2008年7月25日

この発売を記念して、SANSHO（株）主催で、第1回「Grace Cafe」が7月27日にアルカディア市ヶ谷で開催されました。

内田・室伏両教授によるアンチエイジングに関する学術的解説や、『雅 Grace』（グレイス）誕生にまつわるお話などに、参加者一同真剣に聞き入っていました。今後も定期的にこのような会が開催されるそうです。

お肌も頭脳もそして生き方そのものも、「アンチエイジング」から「ポジティブエイジング」へ。大学の研究室からの新たな展開に、アカデミックで着実な成果が今後も期待されます。

（※ SANSHO（株） URL:<http://c-pa.jp> Tel: 03-5203-0716）

cha cha cha

茶・茶・茶 お茶大再発見!

### 科学史散歩 10

### 国境を越えた女性生物学者 團ジーン (1910～1978)

お茶の水女子大学の館山臨海実験所は房総半島の先端に位置し、1970年から今まで、海洋生物に関する様々な実習、研究等を行なっています。今回は、この施設の設立に尽力した“館山の名物先生”こと團ジーンをご紹介します。

ジーンは、1910年にアメリカのニュージャージー州ウェストフィールドに生まれました。ウィルソンカレッジで生物学を専攻し、1932年に進学したペンシルバニア大学大学院のハイルブラン教授の研究室で、日本からの留学生團勝麿と出会い、1936年に結婚しました。まだ国際結婚が稀だったうえ日米関係は悪化する一方でしたが、ジーンは「もし日本に行けば、アメリカの女性の誰にもできないことができるかもしれない。」という大きな夢と共に来日し、それを実現したのです。

戦争の過酷な状況下で、5人の子どもを生み育て、終戦後の1947年にアメリカから位相差顕微鏡を持ち帰ると、1949年には世界の発生物学史上に残る「精子先体反応」を発表しました。この功績によって、1958年、女性として初めて日本動物学会賞を受賞しています。その一方で、広島

の少女詩集『原爆の子』の英訳出版にも力を注ぎました。

「女子学生の教育には結婚して子どももいる女性研究者を」という久米又三教授の招きに応じて、お茶大の教壇に立ったのは、1953年でした。以後23年間、ジーンは、ユーモアを持って学生達に接する一方、研究に関しては“女子学生だから”という妥協を許さず、初歩的なミスを犯すと「このバカチン!」と日本語で叱責がとんだそうです。館山に臨海実験所を作ることが決まると、土地や人材の選定などを率先して行い、自ら実験器具を運び、珊瑚樹や槇、芝生などを植えました。

晩年は実験所の近くに住み、晴耕雨読の日々でした。生物学者としての偉大な業績をひけらかすことなく、半袖シャツにゴム草履で自転車を乗り回すジーンは、地元の人々にも親しまれたそうです。



資料・写真提供：お茶の水女子大学 大学資料室



お茶の水ブックレット 第8号

「明治から昭和に生きた女性作家たち」(仮称) 発行のお知らせ

お茶の水ブックレット第8号『明治から昭和に生きた女性作家たち』が、今秋発行されます。菅聡子教授(人間文化創成科学研究科)のご監修のもとに、明治・大正・昭和という時代の中で「作家」という生き方を選んだ女性達をテーマとして、新進気鋭の研究者たちに書き下ろしていただきました。作家と作品の魅力だけでなく、それぞれの時代における「女性作家」の位置づけの違いなども感じとっていただける内容となっておりますので、中学・高校の先生方には授業のご参考として、学生の皆さんには近代文学の入門書としても好適かと思えます。A5版、約150頁、頒布価格は1冊500円(送料は2冊まで80円)です。詳しくは事務局にお問い合わせ下さい。電話・FAX・E-mail等で承ります。(既刊ブックレットのご案内等は4頁)

〈第8号の概要と執筆者〉

- 序章 : 「木村曙と東京高等女学校一少女たちの夢」  
 第1章 : 「樋口一葉一われは女なりけるものを」  
 菅聡子(お茶の水女子大学教授)  
 第2章 : 「金子みすゞー〈女の子〉の生き方」  
 藤本恵(都留文科大学准教授)  
 第3章 : 「尾崎翠一(彼女)たちの文学的時間」  
 武内佳代(お茶の水女子大学大学院後期博士課程)  
 第4章 : 「野溝七生子一空想(げんじつ)を生きる少女たち」  
 川原塚瑞穂(お茶の水女子大学大学院後期博士課程)  
 第5章 : 「円地文子一年老い給ふほど、この世ならぬ美しさのみ勝りて」  
 倉田容子(お茶の水女子大学リサーチフェロー)



**ヤマザキ**

”おいしい食パン”って、  
 こういうことなんですわね。

**特撰 超芳醇**



**AsahiKASEI**  
 旭化成の住まい

はじめまして  
 ヘーベルハウス  
 です

“大切な家づくり”  
 窓口担当  
 にお任せ下さい!

無料設計・無料土地診断  
 承ります

ロングライフ住宅。  
 ヘーベルハウス

<http://www.asahi-kasei.co.jp/ihinavi/ochanomizu/>  
 お茶の水学術事業会様専用ページからお問合せいただけます。

**旭化成ホームズ株式会社 東京総合営業所** 窓口担当: **西野**  
 〒160-8345 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル10F  
 電話03-3344-7791 FAX 03-3344-7793

編集後記

今号のエリプスは10人の事業会運営委員が分担して書きました。それぞれの取材に応じてくださった先生や職員の方々を入れると20人以上のお茶大関係者の熱き思いが紙面に詰まっています。最後まで読んでいただき感謝が胸がいっぱいです。次号への原動力になります。ありがとうございました。

広告募集

このページに広告を掲載しませんか? 次号は1月に、2500部発行予定です。会員の皆様ははじめ全国の公共機関などに配布しています。広告料金は、1回につき20,000円。詳しくは下記までお問い合わせください。

事務局

**OPEN 月~金 10:00 ~ 16:00**  
 〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館 204  
 TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail : info@npo-ochanomizu.org  
<http://www.npo-ochanomizu.org>

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



◆事務局所在地  
 東京都文京区大塚2-1-1  
 お茶の水女子大学  
 理学部3号館204

◆交通機関

- 地下鉄 丸の内線 茗荷谷駅から徒歩7分
- 地下鉄 有楽町線 護国寺駅から徒歩8分
- 都バス 大塚2丁目バス停すぐ